

## カンボジア：ラタナさん（12歳<sup>1</sup>）、ケムホンさん（14歳<sup>2</sup>） 水質汚染を防ぐための取り組み

カンボジアは、東南アジアのインドシナ半島南部に位置しています。面積は、18万平方キロメートル（日本の約2分の1）で、1,530万人が暮らしています。日本とは文化の交流が盛んであり、2月には「日本カンボジア絆（きずな）フェスティバル」、7月には「七夕フェスティバル」、そのほかにも「日本映画祭」などのイベントが毎年開催されています<sup>3</sup>。

### ラタナさんの取り組み

ラタナさんは毎朝、カンボジアのトンレサップ湖にある自宅をボートで出発します。セーブ・ザ・チルドレンが支援している水上学校を目指すのですが、その前に大切な仕事があります。ボートをこぎながら、湖に散らばるゴミを、仲間と共に拾っているのです。「ボートをこいで学校に行くとき、ゴミを拾ってボートに入れるんです」とラタナさんは言います。



ラタナさん（カンボジア）

ラタナさんは、学校で環境やエコ活動に関する授業を受け、友人たちと湖の清掃（せいそう）に熱心に取り組むようになりました。「公害、森林破壊、ゴミについて学び、環境をきれいにする方法を知りました」と彼女は言います。

彼女はまた、気候変動の状況と環境保護の大切さを地域社会に広める活動も行っています。

---

<sup>1</sup> 2023年時点

<sup>2</sup> 同上

<sup>3</sup> 外務省、カンボジア王国 <<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cambodia/index.html>>

「私たちの世代は、環境について意識しています。お年寄りや大人も、環境問題に取り組む子どもたちの話を聞くべきです」とラタナさんは言います。ラタナさんやその友人たちこそが、漁業で生活しているコミュニティの生活、そして湖を守る最も大きな希望です。世界中で気候変動への取り組みを進めているのは、ラタナさんの世代の子どもたちです。

### ケムホンさんの取り組み

トンレサップ湖で、お父さんとお母さんと一緒に暮らすケムホンさんは、「大人になったら、森を守る警備隊になって、魚の産卵期に行われる違法な漁を取り締まりたい」という夢を持っています。ケムホンさんの環境に対する情熱は、学校で行われている環境やエコ活動に関する授業にも表れています。



ケムホンさん（カンボジア）

学校では、森林破壊や、ビニール袋のポイ捨てによる水質汚染など、環境に関する勉強を行っています。「水質汚染と森林の伐採（ばっさい）は水を汚し、魚を殺してしまいます。魚が死ぬと、私たちの住むコミュニティにも影響が出ます」とケムホンさんは話します。

ケムホンさんと彼のクラスメートは、コミュニティで環境について知ってもらうための活動を行ったり、湖のゴミを集めたりと、自分たちの手で環境を守り、未来を切り開く取り組みを行っています。

ケムホンさんのような子どもたちが、トンレサップ湖を次の世代に残すための活動を率先して行っているのです。

「警備隊は環境に対する優しさを持ちながら、違法行為を取り締まらなければならない」と彼は話します。